

Column



一つ星カリスマシェフ

●「KEISUKE MATSUSHIMA」  
「レストラン アイ」オーナーシェフ

**松嶋啓介**

Keisuke Matsushima



Masato Kato

1977年福岡県福岡市生まれ。97年渡仏、2003年ニースにレストランを開店。拡大オープンした「KEISUKE MATSUSHIMA」が「ミシュラン」で5年連続一つ星を獲得。昨年東京・神宮前に「レストラン アイ」開業。

レストランを構えるニースと東京を、1週間おきに行き来している僕にとって、移動時間は貴重なビジネスアワーだ。

旬のメニューやイベントのプランニングと案内、スタッフへの業務連絡、毎日の売り上げチェックに加え、TwitterやFacebook、ブログでの発信と、iPhone、Macをフル回転させている。

Twitterでは日本に650人のフォロワー、Facebookではフランスに680人のファンがいてくれるので、コミュニケーションが欠かれない。たとえば日本でこんなおもしろグッズが発売された、なんて情報は、フランス人にも受けるんだ。

アプリも重宝している。経済動向

## 「クレイジーな人たち」 アップルとジョブズの 骨太なカッコよさ

をキャッチするための「株価」や、クルマでワイナリー巡りをする際、カーナビ代わりになる「マップ」は、お気に入りだ。

iPhoneはフランス用と日本用で2台使いしている。通信キャリアを分けずに、ローミングしているところ、通信費が大変なことになるから。一時期、20万円を超えて、青ざめた苦い経験がある。もちろん、今はSkypeを利用して、お互いがSkypeユーザーなら、タダで通話できちゃうけれど。

iPhoneは白と黒を買って、日本にいるときは黒、フランスにいるときは白といった具合に、ズボンの中に入れておく。もう1台にはカバーをかけて、ジャケットやコー

トの胸ポケットに入れておく——これが僕流の使い分け。

iPhoneにすっかりなじんで、パソコンもMacに乗り換えてしまったんだけど、その最大の理由はなんといっても、アップルという企業の、そしてステイブ・ジョブズという経営者の骨太なカッコよさ。

1997年の「Think different」の広告キャンペーンを覚えている。「クレイジーな人たちがいる」に始まる絶妙なコピーを。僕は今でも時折、YouTubeでこの画像を再生しては、自分を鼓舞している。自分自身がそうありたいと思っているから。「自分が世界を変えられると本気で信じている人たちがこそが、本当に世界を変えているのだから」